

七ヶ宿町の地域学校協働活動

1 今年度の事業の取組について

七ヶ宿町の協働教育は、協働本部がこれまで実施・調整してきた事業をもとに、地域・家庭・学校が相互に連携して子供を育てる環境づくりを進め、地域・家庭の教育力向上を目指し事業を展開してきた。事業としては、新型コロナウイルス感染対策を踏まえ、前年度の事業を基本とし活動に取り組んだ。

2 地域学校協働本部について

協働本部：七ヶ宿町教育推進協議会（S59年設立 構成員19名 会議2回/年）

地域学校協働活動推進員：0人 統括コーディネーター：1人 地域コーディネーター：2人

関係団体：七ヶ宿町学校運営協議会（H28年設立 構成員13名 会議3回/年）

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考
学ぶ土台づくり「親の学び研修会」	子供への関わり方や個別性にも配慮した成長や発達について学び、子供との向き合い方や今後の成長の見守り方を知る。	主催：宮城県大河原教育事務所，仙南保健福祉事務所 主管：町教委，関保育所
子育て支援講座	親子で体を動かし、子供の発達段階に応じて身に付けたい動きや感覚を養う。	共催：関保育所
「親子で人形劇を楽しむ会」	親子で人形劇を楽しく観劇することによって、子供たちの情緒の発達や人格形成に寄与する。	共催：関保育所，七教進
「親子で遊ぶおもちゃワークショップ」	親子で人形劇の観賞とおもちゃ遊び体験。子育て相談。	共催：関保育所
子を持つ保護者の交流会「ぼっぼクラブ」	子供の成長や親同士の悩み相談など、育児に関する情報交換の場として設定。	新型コロナウイルス感染防止のため、休止
親子料理教室	子供の食育は、小学校頃までが発育・発達の重要な時期であり、成長著しい大事な時期を親子が共に調理体験から食事の大切さを学ぶとともに、愛着醸成を図る。	新型コロナウイルス感染防止のため、休止
親子工作教室	作品を作ることで、地域の暮らしの魅力を認識、再発見してもらおうきっかけとし、町への愛着形成に繋げる。また、ふれあいの機会とし、親子の絆と豊かな心を育むことを目的とする。	①陶芸教室 ②凧づくり教室



子育て支援講座



親子で遊ぶおもちゃワークショップ

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
ジュニア・リーダーの育成	<p>子ども会活動に必要な技術・態度等について学習し、積極的に活動できる次代のリーダーを育てる。</p> <p>①S J L C 「ぼっぼ組」サークル活動（定例会・研修会）</p> <p>②青少年指導者研修会（初級研修会）</p> <p>③地区子ども会へ派遣</p> <p>④子ども会育成会事業（クリスマス会）への支援</p> <p>⑤自主企画事業（ふるさと祭りへの出店・園児との交流・ひなまつり工作）</p>	<p>①会員数：18名</p> <p>②理論・実技研修（計2日間）</p> <p>③令和4年度は要請なし</p> <p>④工作・レクリエーション</p> <p>⑤ふるさと祭り（町イベント）、ひなまつり作品は、水と歴史の館特別展に出品（園児との交流は中止）</p>
NO！ぼっち運動	<p>高齢者が安心安全に暮らせる地域づくりのため、関係機関が連携し合い横断的な事業を推進する。</p> <p>①NO！ぼっち会議</p> <p>②NO！ぼっち手紙運動</p> <p>③あいさつ+声かけ運動</p>	<p>①14の関係機関 運動内容の計画，協議</p> <p>②町内小中高校の児童生徒から高齢者世帯に年1～2回手紙を郵送（136世帯）</p> <p>③子供や地域住民，郵便局員など，あいさつ+声かけを行うよう広報</p>
スポーツ体験会	<p>子供から参加できるニュースポーツの普及，参加者同士の交流と技術向上を図る。</p>	<p>協力：スポーツ推進委員，体育協会</p> <p>町総合スポーツ祭2022を後日実施。</p>



ジュニア・リーダーの育成（初級研修会）



NO!ぼっち手紙運動

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
地域人材活用事業	学校からの要望に応じ、地域の人材を講師として紹介し、様々な学習活動等を支援する。	事業によって中止・延期有り
	横川交流会（笹巻づくり）（1・2年） イチゴの収穫体験（1, 2年） 畑づくり・そば栽培（総合3, 4年） 炭焼きと森のお話（総合3, 4年） 炭石けんづくり（総合3, 4年） 源流米づくり（総合5年） 和太鼓演奏（総合6年） 租税教室（社会6年） 歴史・郷土史（6年） グラウンド・ゴルフ講習会・大会（全学年） 七ヶ宿音頭（全学年） スキー教室・大会（全学年） わらじで歩こう七ヶ宿	七ヶ宿小学校
	①職場体験・生徒生産者訪問（1, 2年） ②七ヶ宿PR活動 ③環境, 福祉学習 ④七ヶ宿音頭（全学年） ⑤スキー教室・大会（全学年） ⑥わらじで歩こう七ヶ宿など	七ヶ宿中学校
学校音楽祭	町内の保育所・小学校・中学校・高校が一堂に会して発表する音楽祭。児童・生徒の交流を図り、町民に子供たちの元気な姿と音楽を鑑賞する機会を提供する。	協働本部（町教育推進協議会）が主催 新型コロナ感染防止のため、中止
七ヶ宿町本読み応援隊	地域ボランティアが保育所や小学校を会場に絵本の読み聞かせを実施する。	新型コロナ感染防止のため、休止

図書利用促進	学校図書の利用促進に向けた取組を支援するため、関係機関を集め、情報の共有、課題の整理等確認するほか、関連事業を組み立てる。併せて町図書の利用促進、子供も大人も一体とした読書推進を図る。	①担当者情報交換会 ②図書関係職員研修会 ③読書通帳の発行 ④スタンプカードの発行 ⑤生徒作成ポップ作品展示 ⑥学校に町図書設置
--------	--	---



地域人材活用事業（源流米づくり）



地域人材活用事業（スキー教室）

4 成果と課題

（1）家庭教育支援

- ・保護者と子供のふれあいや親同士の交流を組み立てながら、学習する機会を設け、保護者への家庭教育向上を図った。参加した保護者の関心が高く、参加状況が良い。ニーズを整理し、持続可能な事業展開が課題である。

（2）地域活動支援

- ・ジュニア・リーダーとなる生徒が年々減少している中、今年度も、新型コロナ感染対策としてプログラムの改編や日程の延期等対策を練り、体験・研修する機会を設けることができた。受講者全員がジュニア・リーダーとして加入しないため、今後は加入促進が必要となってきた。
- ・高齢者の多い当町の実態に合わせた支援を関係機関と連携・協力し、児童・生徒と地域住民の交流から健全育成に寄与できた。

（3）学校教育支援

- ・体験活動や学習活動を通して、地域住民と関わり社会性を養い、地域の一員であることを考える機会となった。
- ・小中各校において地域の人材を活用する仕組みが確立されており、スムーズな活用が行われている。事務局は不足した場合等相談を行っている。幅広い人材の確保が課題である。

七ヶ宿町 「七ヶ宿町コミュニティ・スクール推進フォーラム」

○市町名 七ヶ宿町

○主催 七ヶ宿町教育委員会
七ヶ宿町学校運営協議会

○主管 七ヶ宿町立七ヶ宿小学校・中学校

○期 日 令和4年11月21日（月）

○会 場 七ヶ宿町活性化センター

○目的

子供を中心に学校、保護者、地域の連携・協働によって学校のみらいと七ヶ宿町のみらいを創造する。

○参加者（参加団体）

- ①七ヶ宿小学校教職員，保護者
- ②七ヶ宿中学校教職員，保護者
- ③管内小中学校の教職員
- ④七ヶ宿町教育委員
- ⑤七ヶ宿町まちづくり株式会社
- ⑥七ヶ宿町教育推進協議会
- ⑦七ヶ宿中学校スキー部外部コーチ
- ⑧七ヶ宿町ふるさと振興課
- ⑨七ヶ宿町農林建設課
- ⑩七ヶ宿町議会総務文教常任委員
- ⑪七ヶ宿町社会教育委員
- ⑫七ヶ宿町地域おこし協力隊



○講師・ファシリテーター

講演会

「学校・家庭・地域が共に育む将来の担い手」

講師 岐阜県白川村教育委員会事務局
社会教育主事 新谷さゆり 氏

ワークショップ

「子どもたちとつくる魅力ある学校と地域」

ファシリテーター

七ヶ宿町教育委員会学び支援係

主事（社会教育主事） 佐藤深奈美 氏



○参加者の声

・講演では、家庭サポート部の具体的な取組として、自分みつめシートのマイロッカー等が生徒の自己理解、興味・関心を更に深める手法として参考になりました。また、ワークショップでは、子供が自分のしたいことを発信する機会を設けたり、地域での子供の活躍を記録に残したり、大人たちも地域の魅力を知るために子供と研修会に参加したりと、様々な有意義な意見を共有することができました。

・自分の立場から子供たちに対して、どんなことをしたら良いのかということについて改めて考える機会になりました。また、話合いをとおして、他の立場の方々の意見に耳を傾けるということは、自分の考えを再構築するのに大切であるということを感じました。

・地域の声を聞くことだけでも参考になりました。それに加えて子供のためにという想いは保護者、地域、学校それぞれ同じ想いだと再確認しました。地域の方々と共に一つの行事をつくる経験も必要かと思えます。

・地域と学校と子供がお互いを知り、協力できることを探し合うための場が必要だと感じました。知り合っ、課題や協力してほしいこと、やりたいこと等をテーブルに出して、どこからやるか考えてみたいなと思えました。ただし、みんなが目指す目標と、それに向かう目的が先とのことでしたので、そういったことを考える場作りが先になるのかもしれませんが、でも、どうすれば良いかは分かりません。



・講演の内容が興味深く、自分が勤める学校にどのように落とし込むかを考えながら聞くことができました。「真似できることから真似する。」「持続可能だけれど、必要がなくなったらやめる。」それぐらいの気持ちでコミュニティ・スクールの活動に取り組んでいけばいいのかと思えます。

ワークショップでは、様々な立場の方とお話ができ、とても有意義な時間になりました。地域で子供を育てることに対して、特に関心の高い人たちだということはあると思いますが、このようなグループワークを、近々勤務している学校での学校運営協議会で行うので、どんなワークショップになるか楽しみです。

○講師から

・学校関係者以外の方がこれだけ集まってワークショップができることが大変素晴らしいと思います。白川村でも同じようにできるよう参考にしたいです。

・移住者が多くなってきていることはチャンスと捉え、新たな企画を作っていくことが、担い手育てに繋がっていくと思います。

岐阜県白川村教育委員会事務局

社会教育主事 新谷さゆり 氏



○教育事務所から

「子どもたちとつくる学校と七ヶ宿町の未来」と題して行われたフォーラムには、64名の来場者があり、学校関係者だけでなく様々な立場の地域の方々が集まりました。岐阜県白川村の先進事例に学ぶだけでなく、子供たちと一緒に魅力的な学校や地域をどのように構築していくか、次代の担い手である児童・生徒を育成するために、地域社会や大人がどのような意識を共有すべきかについて、熱心な協議が行われました。

七ヶ宿町は、「地域と一体となった取組」として、「小・中学校の一貫志教育」「あいさつの活性化」「読書活動の推進」に取り組んでいます。学校運営協議会における活発な熟議と、地域学校協働活動の一層の充実が実現し、より家庭・地域・学校、そして子供たちの思いや活動が一体となって展開されることを期待しております。



七ヶ宿町立七ヶ宿小学校

〒989-0525 刈田郡七ヶ宿町字利津保 16-1
 TEL 0224-37-2320
 FAX 0224-37-2326
 児童数 37名 P会員数 29名
 E-mail chief-77s01@www.sichishu-shu.jp



地元農家の協力による
源流米の
田植え・稲刈り体験



横川地区の食文化
笹巻きづくり
を学ぶ



湯原地区の方々と
交流する
グラウンド・ゴルフ大会



地元のスキー場で
地域ぐるみで行う
スキー学習



かしこい子

やさしい子

たくましい子

学校教育目標 「かしこく、やさしく、たくましい児童の育成」



七ヶ宿町立七ヶ宿中学校

〒989-0529 宮城県刈田郡七ヶ宿町字瀬見原1 生徒数 28名
 TEL 0224-37-2360 FAX 0224-37-2387 P会員数 26名

コミュニティ・スクール
CS推進フォーラム



オンラインの会議で講演及びワークショップを行い、卒業生、保護者、地域の方を結び、町の子供たちとどう育ってほしいか、そのために私たち何ができるか話し合いました。

おいしいものづくりに触れる
生産者訪問



地域産業への理解を深めるために、町内の1次産業や2次産業等に携わる生産者の方々から直接ご指導をいただきました。地域をより深く知り、地域貢献についても考えます。

カリキュラム・マネジメント
獣害対策・電気柵設置



地域の方が講師となり、地域で作物を作る上で必要な電気柵の設置の仕方や獣害等について学習しました。サルやイノシシから校豆を守り、全校生徒でおいしくいただきました。

大河原町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

大河原町教育委員会では、子供を地域全体で育むために、家庭・地域・学校をつなぐ仕組みをつくり、協働による教育活動を通じ、家庭・地域の教育力向上を目指す「地域学校協働活動」を推進している。

2 地域学校協働本部について

大河原町地域学校協働本部にて協働教育に関する組織的な目標及びビジョンの共有を図り、多くの地域住民や団体等の参画、活動のネットワーク化に繋げていくとともに、町内小中学校の学校運営協議会との連携を図っていく。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内 容	備 考
子育て親育ち講座	親または親子が集まる機会に、子供とのふれあいや実践学習、講話などを通して家庭教育について理解を深める。 内容：幼児と楽しむふれあい体操 講師による講話や実技活動等の講座 防犯講座，愛着形成講話 親子でおはなしヨーガ 他	会場：保育園・幼稚園 児童厚生施設 等 対象：幼児・児童及び保護者 又は保護者のみ 参加者：延べ471名
子育てサポーター養成講座	子育て支援を行う「子育てサポーター」の養成をとおり、家庭教育や子育てに悩む親を地域全体で支援する環境づくりと社会意識の醸成につなげる。	会場：大河原町中央公民館 回数：3回 参加者：延べ36名，修了者3名
夏休み親子手作り絵本教室	世界で一つの絵本作りを体験し、子供たちの創造性と想像力を育み、本への愛着や親しみを深める。	期日：8月2日・4日・5日 会場：大河原町中央公民館 対象：未就学児及び小学生、保護者 参加者：10名



子育て親育ち講座



子育てサポーター養成講座



夏休み親子手作り絵本教室

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
ジュニア・リーダー事業・研修会	<p>中高生を対象に、子ども会活動の支援や地域活動を行うリーダーとして、様々な知識や技術の習得を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会（月1回） ・初級研修会 ・子ども会，親子会，児童厚生施設等への派遣 ・自主企画イベントの開催 	<p>在籍数：高校生 8名 中学生 10名 小学生 3名 計 21名</p> <p>活動場所：中央公民館</p>
チャレンジキャンプ秋！（インリーダー研修会）	<p>子ども会活動における人材の育成及び他校間の交流を目的とし、野外活動等を通じ、様々な知識や技術の習得を目指す。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。</p>	<p>対象：小学4～6年生</p>
青年会支援事業	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止等により、今年度は活動を自粛している。</p>	



ジュニア・リーダーと遊ぼう会



初級研修会



定例会

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考
職場体験	<p>町内各事業所への連絡調整を図り、取りまとめを行う。</p>	<p>対象：大河原中学校 金ヶ瀬中学校 2年生</p>
中学生子育て理解講座	<p>家庭科の学習支援として、町保健師による講義や指導のもと、沐浴人形を使用したおむつ替え体験や妊婦シミュレーターを装着しての妊婦体験を行う。</p>	<p>対象：大河原中学校 金ヶ瀬中学校 3年生</p>

事業名	内 容	備 考
学校教育支援 ボランティア事業	町内小中学校からの支援要請に応じ、学校支援ボランティアを派遣する。 ○1年生お世話し隊（下校見守り、給食支援、見学・体験学習引率） ○クラブ活動支援（囲碁・将棋、家庭科、茶道） ○図書関係支援（貸出、読み聞かせ、整頓） ○環境整備支援（理科室、畑整地、植栽） ○音楽関係支援（ピアノ伴奏、民謡指導、琴体験、ドラム演奏） ○学習支援（裁縫指導、ミシン修理、食育、サツマイモ苗植え・収穫、スキー教室、昔あそび、伝統風呂敷など）	場所：大河原小学校 大河原南小学校 金ヶ瀬小学校 大河原中学校 金ヶ瀬中学校
職業人に話を聴く会	様々な分野で活動する方々の話を聴くことで、職業への関心を高め、将来の進路選択に対する意識や職業観を磨く。学校から要請のあった職業分野について、就業している方への依頼や、連絡調整等を図る。	対象：大河原中学校 金ヶ瀬中学校 1年生



中学生子育て理解講座



職業人に話を聴く会

（４）放課後子供教室

放課後の時間を活用し、地域の様々な大人との交流や多様なプログラムを通して、地域の子供を育てる環境づくりをしている。また、「放課後子ども総合プラン」に沿った児童クラブとの連携を推進している。

事業名	内 容	備 考
大河原小学校 ほうかご寺子屋	活動内容：学習支援、講師による特別教室 （科学実験教室・レクリエーション）等	活動場所： 大河原小学校 （空き教室）

事業名	内 容	備 考
大河原南小学校 放課後子供教室	活動内容： ACP活動，伝統文化継承活動（和太鼓演奏，かるた取り体験，けん玉体験），野外体験，陶芸教室，茶道体験，百人一首体験 ※平成30年度より，NPO法人子ども育成支援団体キハト会へ業務委託を行っている。	活動場所： 大河原南小学校 （アッセンブリホール）
金ケ瀬小学校 放課後子供教室	活動内容： ニュースポーツ，ペタンク，ペーパータワー，科学実験教室，七夕飾り制作，ハンドベル演奏，たこあげ大会，百人一首大会，太鼓 他	活動場所： 金ケ瀬公民館 （大集会室）



大河原小学校（理科実験教室）



金ケ瀬小学校（百人一首）

4 成果と課題

○家庭教育支援事業

例年実施している子育て親育ち講座や，子育てサポーター養成講座に加え，数年ぶりに実施した夏休み親子で絵本作り教室に関しても大変好評だった。子育て支援チームに関して，メンバーの固定化が見られるため，新たな人材の確保が課題となる。

○地域活動支援事業

ジュニア・リーダーについては数年ぶりに宿泊を伴う初級研修会を開催し，宿泊ならではの活動をとおして様々な技術や知識を習得するとともに協調性を育む機会となった。今後はジュニア・リーダーの主体性がより伸びるよう，活動の進め方や声掛けなどを工夫していきたい。

○学校教育支援事業

学校ボランティアバンクについては，登録更新，実状の把握，見直しを行う必要がある。各学校との連携を図り，支援ボランティアバンクの学校のニーズに合わせた派遣及び活動を行ってきたい。

○地域学校協働活動

大河原町地域学校協働本部立ち上げ後，研修会や協議を通して組織的な目標及びビジョンの共有を図ることができたが，その認識が協働本部役員に限られているため，教職員全体や地域住民へ周知活動を通して理解を深め，地域学校協働活動を進めていきたい。

大河原町 大河原町立金ヶ瀬小学校 放課後子供教室「ハンドベル発表」

○市町名 大河原町

○学校名 大河原町立金ヶ瀬小学校

○期 日 令和4年12月21日(水)

○会 場 金ヶ瀬公民館大集会室

○内 容

金ヶ瀬放課後子供教室「ハンドベル発表」

- ・全3回の練習及びリハーサル1回の後に金ヶ瀬公民館大集会室においてハンドベル発表会を行う。
- ・ハンドベルでクリスマス曲を演奏し、保護者等の前で発表する。

○活動のねらい

- ・楽器に触れ、きれいな音色を発表することを通じて、豊かな心を育む。
- ・仲間と協力して合奏をし、大勢の前で発表することで達成感を味わう。

○講 師

金ヶ瀬放課後子供教室コーディネーター

及川 恵志 氏

教育活動サポーター

菅野 久美子 氏

○指導補助

教育活動サポーター

角田 真由美 氏

大浦 美佐子 氏

鈴木 勉 氏

萱場 秀子 氏

尾形 忠 氏

○児童の声

- ・上手にできた。とても楽しかった。(一年女子)
- ・みんな協力して上手に発表できた。衣装がかわいかった。(一年女子)



- ・練習が少なく不安だったが、発表は上手にできた。家族も見に来てくれてうれしかった。(二年女子)

- ・全然緊張しなかった。もっとたくさん演奏したかった。またやりたい。(二年男子)



- ・100%上手にできた。衣装がよかった。(三年男子)

- ・もう少し練習したかった。またハンドベルをやりたい。たくさんの人に聞いてもらえて良かった。(三年女子)



○保護者の感想

- ・とても綺麗な音色で感動しました。短い時間で頑張ってくれました。素晴らしかったです。
- ・とても良い音でした。会場全体がクリスマスの雰囲気がとても良かったです。感動しました。
- ・上手に演奏していました。みんな背すじもピンと伸びてきていました。大変感動して涙が出てきました。
- ・リズムや速さがとても上手く、テンポよく演奏できていたと思います。短い期間にここまで上手に演奏できることに驚きました。



○講師から

コロナによる休みもあり、練習が少なく不安もあったが、本番では大変上手に演奏できて安心した。歴代そうだが、みな本番に強い子たちだと思う。

本番に強いというのも、裏を返せば教育活動サポーターの皆さんの平日頃の指導の成果であり、熱心に練習で教えていただいた結果だと思う。大変感謝している。

今回、保護者参観OKとしたが、一年生全員の保護者やご家族が演奏を聴きに來てくれた。こんなに参観者が多いのは初めてで大変驚いている。

また、今回の発表会は、会場を装飾したり衣装を揃えたりしてクリスマスの雰囲気がとても良く出ていて、大内先生に感謝している。(及川 恵志 氏)

本来講師をするはずであった角田真由美さんが欠席となったため、代理として今回講師を引き受けた。長年教育活動サポーターをしていて思うことは、子供たちの才能は素晴らしいということ。現在小学校では、音楽の授業で三年生まで楽譜を読ませたりすることはなく、子供たちも個別に音楽教室等に通っている子を除いては音符も読めないはずだが、子供たちは練習するにつれて覚えもはやく、どんどん吸収していった。音符を一生懸命目で追って上手に演奏していた。(菅野 久美子 氏)

○教育活動サポーターの皆様の声

子供たちは練習の時はふざけたり、遊んだりしていることも多いが、本番では完璧に演奏するのでいつも感心している。子供たちの元気や頑張りにかえてこちらが元気をもらっている。

○担当者の声

- ・大変感動しました。素敵な音色を聴かせてくれてありがとうございました。

(大河原町生涯学習課 課長 木村 武俊)

- ・無事終わって安心しました。及川コーディネーターをはじめスタッフの方たちの細やかな指導の成果が、今回のハンドベル発表会の成功に繋がったと思います。

(大河原町生涯学習課 社会教育指導員 大内恵美)



○教育事務所から

子供たちの輝く瞳と美しい音色、ボランティアの皆様熱い思いと優しい眼差しがすばらしく、会場全体が優しさで包まれ幸せな時間が流れていました。

大河原町立大河原小学校

〒989-1241 宮城県柴田郡大河原町字町100 児童数 780名
 電話 0224-52-3401 FAX 0224-52-3402 P会員数 609名

伝統文化教育 朝の読み聞かせ 仙台大との連携



宮城県民謡「さんざ時雨」を大河原民謡協会の方々に教えていただき、音楽発表会で披露した。



ボランティアの皆さんに絵本などの読み聞かせを行っていただき、子供たちが多くの本と出会う機会を得ることができた。



仙台大学との連携により、最新の機材や研究成果に基づいた体育の授業実践を、大学生と共同で行った。



大河原町立金ヶ瀬小学校

〒989-1224 宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字居掛21 児童数 203名
 電話 0224-53-1366 FAX 0224-53-4246 P会員数 160名



ジャガイモの栽培

金ヶ瀬地区の方々に教えていただき、ジャガイモを植えて、収穫した。



ブルーベリー農家見学

地区のブルーベリー農家を見学し、地域の方々と触れ合った。



伝統芸能の保存活動

堤神楽保存会の指導で練習を重ね、金小祭等でその成果を発表した。

大河原町立大河原南小学校

〒989-1201 宮城県柴田郡大河原町 児童数 257名
 大谷字鷺沼入 27 番地 PTA 会員数 194名

サツマイモ植えと芋祭り



1〜3年生と特別支援の子供たちとで、サツマイモの蒔きと芋祭りを行いました。地域のJA婦人部の方々に優しく教えてもらいながら、大きな芋をたくさん収穫できて大満足でした。

福祉体験授業



目の不自由な方をゲストに招いて行話をいただきました。また、高齢者体験や車いす体験などを通して、様々な障害のある方々への理解と自分たちには何ができるかなどについて考えることができました。

もがり祭（音楽祭）



運動会前に十分配慮して、各学年、合唱や合奏などを披露することができました。ゲストティーチャーを定期的に招き、合演準備をしていただきました。



大河原町立大河原中学校

〒989-1247 宮城県柴田郡大河原町字東1番地 児童数 203名
 TEL (0224) 52-3501 生徒数 424名
 FAX (0224) 52-3502 教員数 24名

防犯ボランティア 避難所開設訓練 菓子のパッケージデザイン



大河原警察署と連携し、町内商業施設において、ボランティア部による防犯の呼びかけを継続して行っています。



中学生防災ボランティア「MAS」による避難所開設訓練。地域のために自分たちができることを考える生徒が増えています。



美術科では、町の菓子店と連携し、大河原町の菓子を包むパッケージをデザインする授業を行い、作品を菓子店に提出しました。



大河原町立金ケ瀬中学校

〒989-1224 宮城県栗田郡大河原町金ケ瀬字原74番地
TEL:0224-53-1369 FAX:0224-51-1076

生徒数:112名
P会員数:101名



子育て理解講座

家庭課の授業で、町健康推進課の御協力で、子育て理解講座を行っています。子育ての大変さと、命の大切さを学んでいます。



震災遺構見学

震災遺構中浜小学校を見学しました。語りべの会の方から当時の話を聞いて、防災に対する意識を高めています。



志集会

常盤木学園高校音楽科の生徒さんをお招きし、演奏を披露していただきました。自分の将来について考える機会としています。

村田町の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

むらたっ子応援団事業では、家庭・地域・学校の連携・協働のもと、子供たちの学びの充実を図る活動を展開している。また、活動をとおして生まれる「人とのつながり」を重視し、地域が一体となって子供たちを育む体制づくりをめざし、併せて町民が培ってきた知識や技能を活用する機会の充実を図っている。

2 地域学校協働本部について

(1) むらたっ子応援団協議会

子供たちを地域全体で育むため、家庭・地域・学校の関係各者が連携し、子供たちの「学び」の充実に向け、事業全体の活動方針・計画の策定や活動の助言・指導、評価・検証を行う。

(2) 村田町地域学校協働本部

むらたっ子応援団協議会で立案された計画や方針、事業の評価・検証に基づき、子供たちや保護者の学びを充実させるための取組を行う。

(3) コーディネーター

町教育委員会生涯学習課の社会教育指導員が統括コーディネーター（兼地域コーディネーター）としての役割を担う。

3 事業紹介

(1) 家庭教育支援

事業名	内容	備考（会場・対象・参加人数）
家庭教育学級	講話「子どもの育ちを考える～自己肯定感を育む子どもとの関わり～」 講師：NPO 法人子育て応援団ゆうわ 理事長 齋藤 勇介 氏 ・保護者に対し、子供の育ちに必要な要素や、コロナ禍における子供とのかかわり方等についての学びの場を提供した。	1. 村田幼稚園 会場：村田町民体育館 参加者：保護者 48名 2. 村田保育所 会場：村田町民体育館 参加者：保護者 52名

	<p>「親子ふれあい体操」 講師：カワイ体育教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢に適した親子のできる体操をとおして、親子でふれあう手法を学び、家庭での親子のよりよいコミュニケーション能力を育成する機会を提供した。 	<p>1. 村田保育所 会場：村田町民体育館 参加者：親子 70組</p> <p>2. 村田幼稚園 会場：村田町民体育館 参加者：親子 79組</p>
--	--	---



【家庭教育学級】

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考(会場・対象・参加人数等)
<p>子ども体験 学習クラブ</p>	<p>①天体観測講座「すすめ！月面たんけん隊」 ②「常夜灯に絵を描こう！」 ③縄文人くらぶ「第1回土器づくり編」 ④縄文人くらぶ「第2回野焼き・石器づくり編」</p> <p>・公民館や歴史みらい館において様々な体験活動を行い、楽しく学べる学習機会を提供することで、子供たちの豊かな心を育むとともに、学ぶことへの意欲向上を図った。</p>	<p>①会場：村田町歴史みらい館 参加者： 小学生25名及び保護者 ジュニア・リーダー6名</p> <p>②会場：村田町民体育館 参加者：小学生 29名</p> <p>③会場：村田町歴史みらい館 参加者： 小学生 17名 保護者 10名 ジュニア・リーダー6名</p> <p>④会場：村田幼稚園周辺(屋外) 参加者： 小学生 17名 保護者 10名 ジュニア・リーダー4名</p>
<p>野外活動 体験事業</p>	<p>①「夏の子ども村キャンプ」 ②「春の子ども村キャンプ」</p> <p>・ジュニア・リーダーの指導の下、異年齢集団でのキャンプ生活をとおして、思いやりや自主性、たくましく生きる力を養うことを目的に実施した。</p>	<p>①会場：蔵王自然の家 【A日程】参加者： 小学1・3・5年生 40名 ジュニア・リーダー 24名 【B日程】参加者： 小学2・4・6年生 17名 ジュニア・リーダー 28名</p> <p>②会場：村田町中央公民館 参加者：小学生及びジュニア・リーダー (3月開催予定)</p>

<p>ジュニア・リーダー活動 (会員35名)</p>	<p>「マボック発表会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア・リーダーが自ら企画した手作りのクリスマス会を子供たちにプレゼントすることで、お世話になった人に対する感謝の気持ちがもてるようにするとともに、地域ボランティアの活動をとおして、自主性や協調性を養い、青少年リーダーとしての資質・能力をさらに高められるようにすることを目的に実施した。 	<p>会場：村田町中央公民館 参加者： 小学生 34名 ジュニア・リーダー 24名</p> <p>※令和4年度は、視聴覚教材センターの「おでかけ！あずなびあ！」を活用し、「プログラミング体験活動」と「ダンス体験活動」を行った。</p>
--------------------------------	--	---



【夏の子ども村キャンプ】

【マボック発表会】

(3) 学校教育支援

事業名	内容	備考(実施機関)
安全支援(登下校時)	児童生徒の登下校時の安全見守り	村田小学校・村田第二小学校
安全支援(校外活動)	園外保育	村田幼稚園
本の読み聞かせ活動	本の読み聞かせ(朝・放課後)	村田小学校・村田第二小学校
教科支援	歴史の学習, 文化体験 等	村田小学校・村田第二小学校
農業体験学習支援	野菜等の栽培・収穫, 紅花の栽培・収穫, 米づくり, 大豆栽培 等	村田幼稚園・村田保育所・村田小学校・村田第二小学校・村田第二中学校
行事支援	七夕飾りづくり, 餅つき会, だんごさし体験 等	村田第二小学校・村田保育所
部活動支援	村田第一中学校総合文化部, 村田第二中学校卓球部	村田第一中学校・村田第二中学校



【紅花の種まき】



【園外保育】



【お米の話】



【野菜の苗植え】



【交通安全指導】



【みそ作り体験】

(4) むらたっ子応援団事業で実施した研修会等

事業名	内容	備考(会場・対象・参加人数)
むらた庭木剪定 講習会	庭木剪定の技術向上 活動とおした生徒との交流 新規ボランティアの養成	①村田第一中学校 むらたっ子応援ボランティア 及び一般町民 12名 ②村田第二中学校 むらたっ子応援ボランティア 及び一般町民 10名



【むらた庭木剪定講習会】

4 成果と課題

各学校、幼稚園、保育所におけるそれぞれの特色を生かした独自性のある活動計画により、家庭・地域・学校のより充実した連携・協力体制の形成が図られている。引き続き、活動に携わる地域ボランティアや地域連携担当などの意見を共有し、コロナ禍における活動も含め、よりよい事業のあり方について検討していきたい。

課題としては、登録していただいているボランティアのみなさんの高齢化が進んでいる。各学校、幼稚園、保育所の現状を把握するとともに、ボランティア人材の発掘や育成支援を図り、さらに充実した学習支援を行えるように努める。

村田町立村田第二中学校(むらたっ子応援団事業)「むらた庭木剪定講習会」

○市町名 村田町

○学校名 村田町立村田第二中学校

○期 日 令和4年9月28日(水)から
令和4年9月29日(木)まで

○内 容

【学校】総合的な学習の時間「地域協働学習」

- ・地域と連携した学習活動をとおして、地域の一員であるという自覚を高める。
- ・地域の人々と触れ合うこととおして、生き方や社会における役割を理解させる。

【地域住民】「むらた庭木剪定講習会」

- ・実技をとおして庭木剪定の基礎知識や技術を学ぶ。(参加者10名)

【行政】「むらたっ子応援団事業」

- ・趣味やボランティア活動などに生かせる庭木の剪定技術を、実技をとおして仲間とともに楽しく学ぶ機会を設定する。

○講 師

太田造園 太田善雄 氏



○生徒の声

・今回の庭木剪定講習会は、3年目ということもあり自分から行動することができました。暑い中、庭木を剪定してくださっていた方から豆知識を教えてもらうことができました。毎日、何気なく見ていた松の木が1年でどれくらい葉をのばしていたのか、手入れしてくださる方々の大変さを改めて実感しました。また、仲間と協力する楽しさや大切さを改めて実感することができました。今回学ぶことができたこと、反省点をしっかり復習して今後の生活に生かしていきたいです。



・3年生は今回の庭木剪定が3回目だったので、去年よりもスムーズに片付けたり、運んだりすることができたと思います。私は、小さい熊手を使って落ちた庭木などを拾っていたのですが、細い隙間に挟まっている松の葉など、小さな熊手でしかできないところをしっかりと探して取ることができたので良かったです。学校の庭木がいつもきれいに整っているのは、何もしなくて整っているのではなく、今回のように庭木剪定を行ったり、きれいに整えていただいたりする人がいるからこそなのだなあと改めて思いました。

- ・今年で3回目の庭木剪定でしたが、1年生と2年生のときのことを思い出しながら、より効率的に作業ができるよう、工夫して取り組むことができました。落ちてきた枝や葉を集めるだけでもこれだけ大変なのに、切る作業も合わせるとなると、より大変な作業になるということを改めて感じ、校庭がきれいに保たれていることにも感謝しなければならないなと思いました。



- ・今回の庭木剪定講習会で、私は校舎に入るまでの道のりにある木がきれいなのは、毎年たくさんの方が木を剪定して下さっているおかげなんだと改めて感じる事ができました。私たちが今こうして元気で過ごせていることも、たくさんの方が関わってくれているからなのだと考えると、「協力する」「周りの人へ感謝」という当たり前を感じてしまう言葉でも、その重みを感じることができました。



○講師から

毎年恒例の事業となっておりますが、今回も多くの方に参加してもらうことができました。今後、趣味やボランティア活動などに活かしてもらえれば幸いです。中学生によるお手伝いも大変ありがたく、地域の方々との交流もできよかったと思っています。

○講座参加者から

技術的な指導をいただきながら、2日間楽しく作業をさせていただきました。中学生との交流も、普段はなかなかできないことなので、一緒に活動することができてよかったです。また来年も参加したいと考えています。

○教職員の声

今年度も校地内の庭木剪定をしていただきたいへん感謝しています。毎日、生徒たちが登校時に眺める校木の「あかまつ」が、よりすっきりしてきれいになりました。

村田二中では、これまでも紅花栽培や稲刈り等「むらたっ子応援団」の支援を受け、体験活動を行ってきました。今回の庭木剪定講習会の活動においても、生徒たちは自分の役割を意識するとともに、地域の方々に感謝する気持ちが育ってきていると感じました。これからも生徒たちのよりよい成長のために連携していきたいと思えます。

○教育事務所から

学校という場を生かし、住民の学びの機会の創出と生徒の地域住民との交流が見事に融



合した事業でした。軽トラックいっぱいに積まれた枝葉から、協働の力強さや成果が感じられました。多世代交流がさらに広がり、地域と学校がより緊密に連携し、主体的に地域社会に働きかける生徒が育つことを期待します。

(文責：大河原教育事務所生涯学習担当)

村田町立村田小学校

あいことば「あひそろう きれいな心の花を、大空にほよう 自分の夢を！」

〒989-1305 宮城県柴田郡村田町村田字迫6 TEL 0224-83-2049 FAX 0224-83-2136 児童数 326名 PTA会員数 201名

ホームページをご覧ください。

地域に根ざした教育活動（むらたっ子応援団・学習ボランティア）

2年 SUGO 夢教室
・バイクへの乗車体験、プロレーサーのトークなど貴重な体験ができました。



3年 大豆の種植え
・ボランティアさんの力添えにより秋の収穫を願って大豆の種を植えました。



6年 紅花の収穫
・紅花の種植え、収穫、紅花染め体験など、村田町ならではの体験ができました。



村田町立村田第二小学校

〒989-1321 宮城県柴田郡村田町大字沼辺字籠田27
電話・FAX 0224-52-5922

児童数 119名
P会員数 90名

ことば はっきり ところ すっきり からだ がっちり

＜学習の様子＞
登場人物の気持ちに分かる言葉をつまみました。



＜たてわり遊び＞
低学年のお友達も楽しめる遊びを工夫して、みんなで遊びます。



＜紅花栽培＞
学年毎に作物を育てています。給食にも使っていただきます。（まきまき）



村田町立村田第一中学校

〒989-1305 柴田郡村田町大字村田字七小路92
Tel. 0224-83-2104 Fax 0224-83-5865

生徒数：186名 PTA会員数：169名

伝統と先進を学ぶ、村田一中地域連携活動

植木剪定講習会ボランティア



ボランティア活動への参加を通して地域と連携し、郷土の一員としての自覚を高めた。

布袋まつり伝承会



中止となった布袋まつりを校内で再現し、上級生が下級生に伝統を伝えた。

地元企業と連携・夢教室



町内の企業（スポーツランド菅生）の施設見学や職業人の講話を通して、地域社会との関わりについて学んだ。

村田町立村田第二中学校

村田二中 三つの心
「学ぶ心」「感じる心」「鍛える心」

〒989-1321 宮城県柴田郡村田町大字沼辺字二丁目32番地
電話 0224-83-2428 FAX 0224-83-5211
info@mura-2-jhs.murata-town.ed.jp

生徒数 79名 P会員数 73名

「米づくり」「紅花栽培・加工」体験学習 「和太鼓」演奏 縫製で行う「職場体験学習」

地域学校協働活動推進事業「むらたっ子応援団」の支援を受けて

「田植え」「稲刈り」
収穫した米は、パッケージを工夫して販路も行う。



紅花の「種まき」「挿し」「加工」
ドライフラワーに加工したものは町の行事や交流活動に活用。ご飯やパンなどにも使用。



地域伝統の「風物本鼓」を継いでいただき、文化館で発表。
学校が会場の「熊本県定例会」生徒生員がお手伝いして交流。



3年層を通し、縫製グループで行う2日間の「職場体験学習」R2とR3は、地域の先方による「職業人講話」をおこなった。

「スポーツランド菅生」での見学と交流。